

IHPトレーニングコース

	タイトル	期間	場所	担当者	参加者数
1	The First IHP Training Course, 1991	2-19 March, 1992	Nagoya, Chubu Region, Kyoto, Tsukuba, Kiyose, Japan		6
2	The Second IHP Training Course, 1992	1-18 March, 1993	Nagoya, Tokyo, Kanto Region, Tsukuba, Chiba, Kiyose, Japan		10
3	The Third IHP Training Course, 1993	16 August- 2 September, 1993	Nagoya, Chubu Region, Kyoto, Tsukuba, Kiyose, Japan		8
4	The Fourth IHP Training Course, 1994	15 August-1 September, 1994	Nagoya, Tokyo, Kanto Region, Tsukuba, Chiba, Kiyose, Japan		8
5	The Fifth IHP Training Course, 1995	13 December-16 February, 1996	Part1: Aichi and Gifu, Part2: Otsu, Uji, Hirakata, Kyoto Part3: Hitachi-Ohta, Tsukuba, Tokyo, Kiyose, Japan		6
6	The Sixth IHP Training Course, 1996	19 August-5 September, 1996	Nagoya, Tsukuba, Chiba, Tokyo, Kiyose, Japan		5
7	“Snow Hydrology”	9-22 March, 1998	Nagoya & Myoko, Japan		20
8	“Remote Sensing”	8-21 March, 1999	Nagoya & Tokyo, Japan	中村 健治	13
9	“Limnology”	26 July-8 August, 1999	Nagoya, Nagano and Shiga, Japan	寺井 久慈	8
10	“Hydrology related to Head Water Management”	24 July-6 August, 2000	Kiryu-City, Gunma Prefecture, Japan	福高 義宏	9
11	“Hydrogen and Oxygen Isotopes in Hydrology”	9-22 September, 2001	Nagoya, Kusatsu, Chiba, Yokohama & Tokyo, Japan	吉田 尚弘 (東京工業大学)	12
12	“Precipitation and Water Resources”	23 February-8 March, 2003	Nagoya and Kyoto, Japan	中北 英一 (京都大学) ・ 上田 博	13
13	“Effects of Pollutants on Atmospheric Environment”	7 March-20 March, 2004	Nagoya and Tokyo, Japan	石坂 隆	9
14	“Hydrology in Asia”	11-15 October, 2004	Humid Tropics Centre, Kuala Lumpur, Malaysia	中村 健治	29
15	“Water and Carbon Cycles in Terrestrial Ecosystems”	26 February-11 March, 2006	Nagoya and Chiba, Japan	檜山 哲哉	14
16	“Oceanography Basics”	26 November-9 December, 2006	Nagoya and Ehime, Japan	森本 昭彦	9
17	“Numerical Prediction of High-Impact Weather Systems”	2 - 15 December, 2007	Nagoya, Japan	坪木 和久	14
18	“Satellite Remote Sensing of Atmospheric Constituents”	3-15 November 2008	Nagoya, Japan	増永 浩彦	8
19	“Water Resources and Water-Related Disasters under Climate Change - Prediction, Impact Assessment and Adaptation -”	29 November-12 December 2009	Kyoto, Japan	竹門 康弘 (京都大学)	20
20	“Groundwater as a key for adaptation to changing climate and society”	7 to 20 November, 2010	Nagoya and Kyoto, Japan	谷口 真人 (総合地球環境学研究所)	12
21	“Introduction to River Basin Environment Assessment under Climate Change”	28 November-9 December, 2011	Kyoto, Japan	角 哲也 (京都大学) 浜口 俊雄 (京都大学)	16
22	“Precipitation Measurement from Space and its Applications”	18 November - 1 December, 2012	Nagoya and Kyoto, Japan	中村 健治	13
23	“Ecohydrology for River Basin Management under Climate Change”	2 - 13 December, 2013	Kyoto, Japan	角 哲也 (京都大学) 田中 賢治 (京都大学)	24
24	“Forest Hydrology - Conservation of Forest, Soil, and Water Resource”	23 November - 7 December 2014	Nagoya, Japan	熊谷 朝臣	12
25	“Risk Management of Water-related Disasters under Changing Climate”	30 November - 11 December, 2015	Kyoto, Japan	田中 茂信 (京都大学) 野原 大督 (京都大学)	14
				合計	312

ユネスコ・アジア太平洋地域国際水文学計画（IHP）トレーニングコース

■第11回 平成13年9月9日－22日

テーマ「Hydrogen and Oxygen Isotopes in Hydrology（同位体水文学）」

参加者：ユネスコ推薦7名（インドネシア1・カンボジア1・中国1・ベトナム1・ニュージーランド1・タイ1・マレーシア1）／自費2名（オーストラリア2）／名古屋大学留学生1（1）／名古屋大学院生1名（日本1）／東京工業大学院生2名（日本2）

研修先：名古屋大学地球水循環研究センター（講義）・東京工業大学草津白根火山観測所見学・東京工業大学総合理工学研究科（講義）・東京大学農学部附属千葉演習林（演習）

■第12回 平成15年2月23日－3月8日

テーマ「Precipitation and Water Resources（降水と水資源）」

参加者：ユネスコ推薦7名（カンボジア1・インドネシア1・ラオス1・ベトナム1・ニュージーランド1・タイ1・マレーシア1）／自費3名（エジプト2・ボリビア1）／名古屋大学留学生3名（バングラデシュ2・ネパール1）

研修先：名古屋大学地球水循環研究センター（講義）・気象庁名古屋地方気象台見学・京都大学院工学研究科（講義）・淀川流域（淀川ダム総合管理事務所）フィールド見学・琵琶湖プロジェクトサイト（琵琶湖工事事務所）見学

■第13回 平成16年3月7日－3月20日

テーマ「Effects of Pollutants on Atmospheric Environment（汚染物質が大気環境に及ぼす影響）」

参加者：ユネスコ推薦8名（インドネシア2・ラオス1・ベトナム1・フィリピン1・タイ1・ブータン1・ニュージーランド1）名古屋大学留学生1名（ネパール1）

研修先：名古屋大学地球水循環研究センター（講義）・知多半島観測現場見学、演習・豊橋技術科学大学工学部（演習）・東京大学気候システム研究センター見学・宇宙開発事業団衛星総合システム本部地球観測利用研究センター見学・海洋科学技術センター横浜研究所地球シミュレーターセンター見学・国立環境研究所見学

■第14回 平成16年10月11日－15日

テーマ「Hydrology in Asia（アジアにおける水文学）」

参加者：バングラデシュ1・中国2・エジプト1・インド1・インドネシア1・ラオス1・ネパール2・ニュージーランド1・フィリピン1・スリランカ1・ベトナム1・マレーシア2

研修先：Humid Tropics Centre (Kuala Lumpur, Malaysia)

■第15回 平成18年2月26日－30月11日

テーマ「Water and Carbon Cycles in Terrestrial Ecosystems（陸域植生における水と炭素循環）」

参加者：ユネスコ推薦7名（ラオス1・フィリピン1・インドネシア1・ミャンマー1・ネパール1・パプアニューギニア1・ベトナム1）／SELIS共催6名（アメリカ1・フィリピン1・インドネシア1・中国1・ベトナム1・タイ1）

研修先：名古屋大学地球水循環研究センター（講義）・千葉大学環境リモートセンシング研究センター（演習、見学）・筑波大学陸域環境研究センター見学・（独）海洋研究開発機構地球シミュレーターセンター見学

■第16回 平成18年11月26日－12月9日

テーマ「Oceanography Basics（海洋学基礎）」

参加者：ユネスコ推薦6名（インドネシア2・ミャンマー1・パプアニューギニア1・フィリピン1・スリランカ1・ベトナム1）／名古屋大学留学生2名（ベトナム1・インドネシア1）

研修先：名古屋大学地球水循環研究センター（講義）・三重大学「勢水丸」海洋観測・愛媛大学沿岸環境科学研究センター見学、愛媛県水産試験場（演習、見学）

■第17回 平成19年12月2日－12月15日

テーマ「Numerical Prediction of High-Impact Weather Systems（豪雨と暴風気象の数値シミュレーション）」

参加者：ユネスコ推薦8名（インドネシア2・ラオス1・マレーシア1・ネパール1・ベトナム1・フィリピン1・タイ1）／名古屋大学招聘2名（マレーシア1・ラオス1）／名古屋大学留学生3名（バングラデシュ2・中国1）

研修先：名古屋大学環境総合館（講義）・名古屋大学情報連携基盤センター（演習）・気象庁、（独）海洋研究開発機構地球シミュレーターセンター見学

■第18回 平成20年11月3日－11月15日

テーマ「Satellite Remote Sensing of Atmospheric Constituents（大気物質の衛星リモートセンシング）」

参加者：ユネスコ推薦7名（中国1・インドネシア1・韓国1・ラオス1・ミャンマー1・フィリピン1・ベトナム1）／名古屋大学留学生1名（バングラデシュ1）

研修先：名古屋大学地球水循環研究センター（講義）・名古屋大学情報連携基盤センター（演習）・（独）宇宙航空研究開発機構筑波宇宙センター見学・（独）海洋研究開発機構地球観測研究センター（セミナー）

■第19回 平成21年11月29日－12月12日

テーマ「Water Resources and Water-Related Disasters under Climate Change - Prediction, Impact Assessment and Adaptation -（気候変動下の水資源と水災害～予測、影響評価、適応策～）」

参加者：ユネスコ推薦8名（インドネシア2・モンゴル1・フィリピン1・タイ1・マレーシア1・ベトナム2）／京都大学招聘2名（エジプト2）／自費参加2名（イラン2）／京都大学留学生・研究員7名（インド1・マレーシア1・中国1・ブラジル1・ネパール3・ミャンマー1）

研修先：京都大学防災研究所（講義、演習）・琵琶湖博物館見学・南郷洗堰、天ヶ瀬ダム、宇治川現地見学

■第20回 平成22年11月7日－11月20日

テーマ「Groundwater as a key for adaptation to changing climate and society（気候変化に備えるための鍵－地下水－）」

参加者：ユネスコ推薦8名（インドネシア1・マレーシア1・モンゴル1・ネパール1・フィリピン1・タンザニア1・タイ1・ベトナム1）／名古屋大学留学生2名（バングラデシュ1・ネパール1）京都大学留学生2名（ブラジル1・中国1）

研修先：名古屋大学地球水循環研究センター（講義）・総合地球環境学研究所（国際シンポジウム参加、講義）熊本巡検

■第21回 平成23年11月28日－12月9日

テーマ「Introduction to River Basin Environment Assessment under Climate Change（気候変動下の流域環境評価入門）」

参加者：ユネスコ推薦8名（カンボジア1・インドネシア1・モンゴル1・ミャンマー1・ネパール1・フィリピン1・タイ1・ベトナム1）／京都大学留学生7名（ブラジル1・インド1・マレーシア1・ベトナム1・韓国1・インドネシア2）／京都大学大学院生1名（日本1）

研修先：京都大学防災研究所（講義、演習）・琵琶湖博物館見学・南郷洗堰、天ヶ瀬ダム、宇治川現地見学

■第22回 平成24年11月18日－12月1日

テーマ「Precipitation Measurement from Space and its Applications（宇宙からの降水観測とその応用）」

参加者：ユネスコ推薦5名（カンボジア1・ラオス1・モンゴル1・フィリピン1・タイ1）／京都大学留学生3名（中国1・タイ1・アメリカ1）京都大学外国人共同研究者2名（タンザニア1・ミャンマー1）／JAICA 3名（ガーナ3）

研修先：名古屋大学地球水循環研究センター（講義、演習）・中日本航空（施設見学）・京都（日本文化鑑賞）

■第23回 平成25年12月2日－12月13日

テーマ「Ecohydrology for River Basin Management under Climate Change（気候変動下の河川流域管理のための生態水文学）」

参加者：ユネスコ推薦5名（インドネシア1・マレーシア1・モンゴル1・ネパール1・ベトナム1）／ユネスコ活動費補助金7名（スリランカ1・エジプト2・ウズベキスタン1・ミャンマー3／JSPS（エジプト1・ベトナム1）／京都大学留学生8名（ミャンマー1・タイ1・中国2・イラン1・ラオス1・リビア1・インド1）／京都大学外国人共同研究者2名（パプアニューギニア1・バヌアツ1）

研修先：京都大学防災研究所（講義、演習）・琵琶湖博物館見学・南郷洗堰、天ヶ瀬ダム、宇治川現地見学

■第24回 平成26年11月23日－12月7日

テーマ「Forest Hydrology –Conservation of Forest, Soil, and Water Resources（森林水文学－森・土・水の保全のために）」

参加者：ユネスコ推薦5名（ベトナム1・マレーシア1・ミャンマー1・中国1・タイ1）／ユネスコ活動費補助金4名（カンボジア4）／VL1名（アメリカ1）／京都大学留学生2名（インドネシア1・エジプト1）

研修先：名古屋大学地球水循環研究センター（講義、演習）・東京大学生態水文研究所 赤津研究林（愛知県瀬戸市）、犬山研究林（愛知県犬山市）・京都大学桐生水文試験地見学